

# 沿岸定線観測速報 ちば (2023年2月)

千葉丸：2月5～7日

千葉県水産総合研究センター  
千葉県農林水産技術会議  
令和5年2月10日

黒潮は、房総沖で接岸し、北東方向へ流れていました(図2)。  
水温は、銚子・九十九里海域で平年並、外房海域で概ねやや低めでした(表1)。

## 【詳細】

各水深における平均水温は、外房海域の水深50, 100, 200mでやや低めであった他は、平年並でした(表1)。

水平方向には、水深10m, 100m, 200mで岸から沖への顕著な水温勾配が見られました(図3)。鉛直方向には、犬吠埼沖の水深150m付近、九十九里沖及び太東埼沖の100～150m付近に周囲よりも低温の水塊が見られました(図5,図6)。また、犬吠埼沖の水深450～500m及び太東埼沖の400～450mには低温低塩分水(水温7℃以下、塩分34.1以下)の水塊が見られました。

黒潮は接岸して北東へ流れ、流路内及び北縁部では4～5ノットの極めて速い流れが見られました(図2)。沿岸域では北～東方向へ0.5ノット前後の流れが見られました。

クロロフィル濃度は、犬吠埼沿岸の水深10mで1.30μg/Lと周辺海域より高めでした(図7)。

キンメダイ漁場は、勝浦沖では前年に比べ、水温が水深120～180mまでは0.2～0.9℃高め、塩分は水深120mまでは0.1低めでした(図8)。銚子沖では水温が水深150mまでは1.0～3.0℃高め、塩分は水深70mまで0.1低めでした。

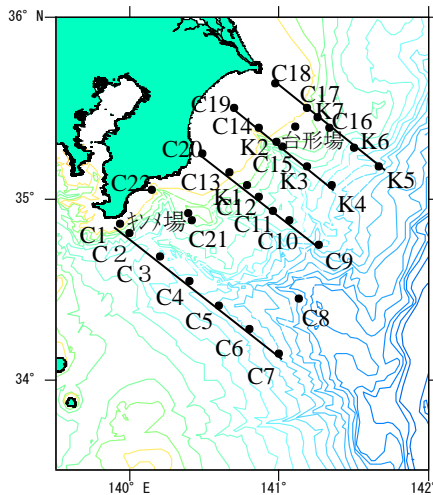


図1 調査点

線は北から犬吠埼、九十九里、太東岬、野島埼南東線  
K3欠測

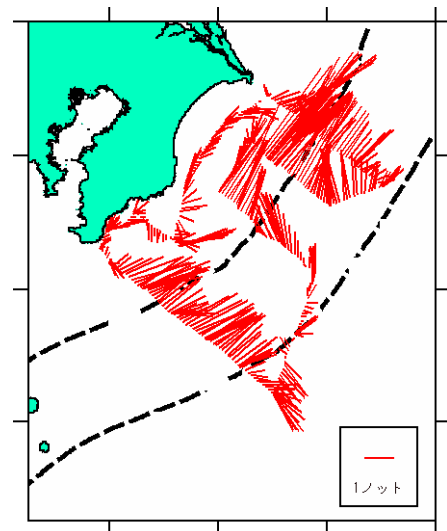


図2 黒潮流路(破線)と流況

表1 海域別平均水温(℃)と評価

海域	0m	50m	100m	200m
銚子・九十九里	17.00 平年並	18.17 平年並	16.81 平年並	16.02 平年並
外房	17.39 平年並	16.52 やや低め	16.38 やや低め	14.60 やや低め

\*水温評価点 銚子・九十九里海域：C14～20 計7点、外房海域：C1,3,11,13,21,22 計6点

\*沿岸水温評価の目安(σ：標準偏差)

きわめて高め	2.0 σ～
高め	1.3 σ～2.0 σ
やや高め	0.6 σ～1.3 σ
平年並	0.0 σ～0.6 σ, -0.6 σ～0.0 σ
やや低め	-0.6 σ～-1.3 σ
低め	-1.3 σ～-2.0 σ
きわめて低め	-2.0 σ～

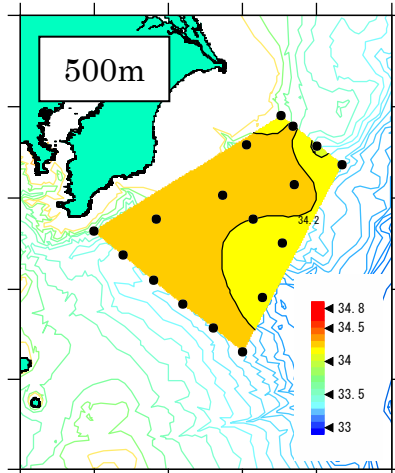
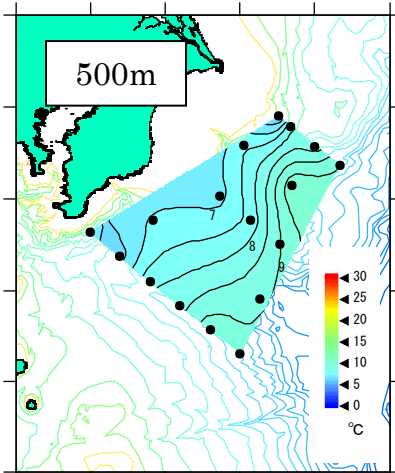
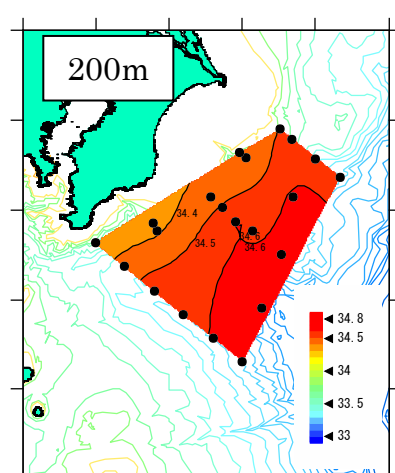
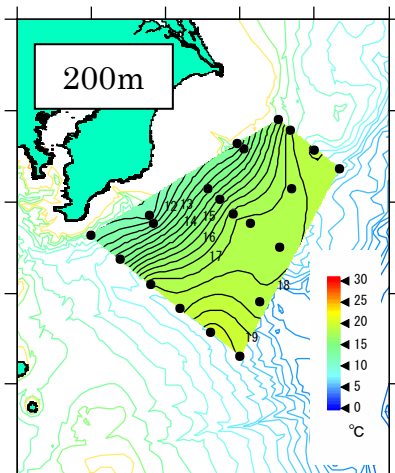
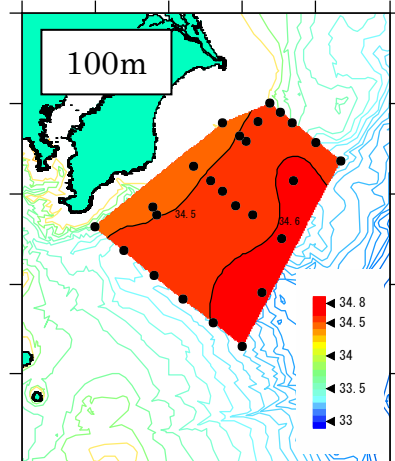
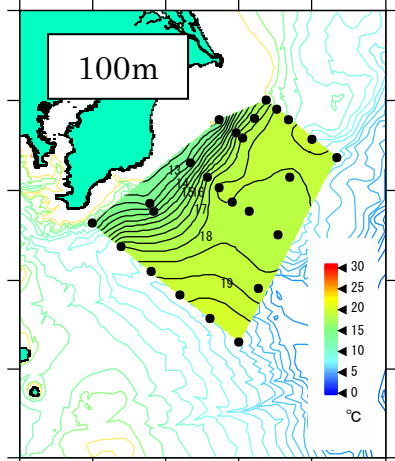
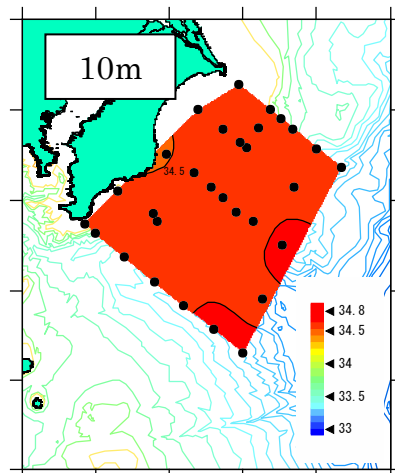
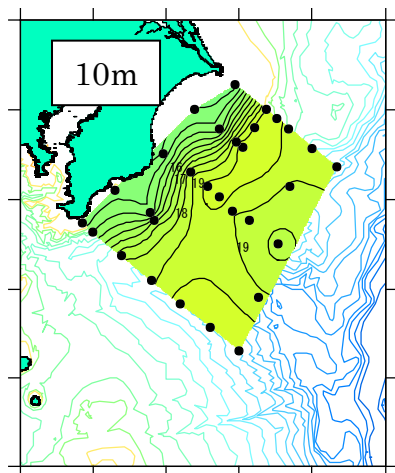


図3 水深別の水温分布

図4 水深別の塩分分布

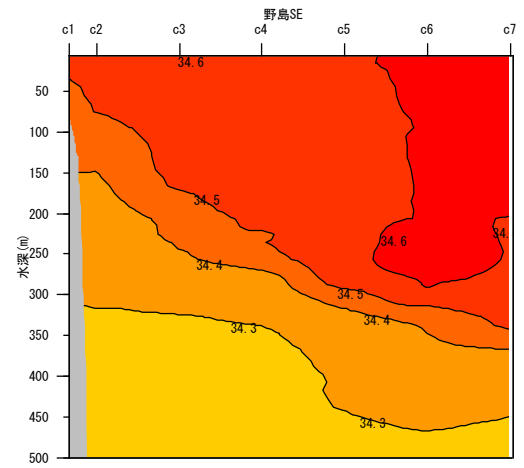
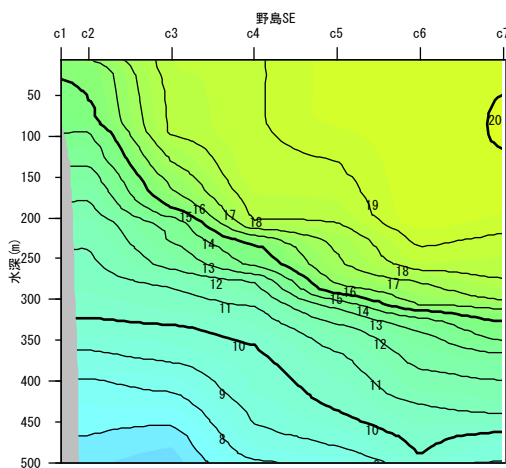
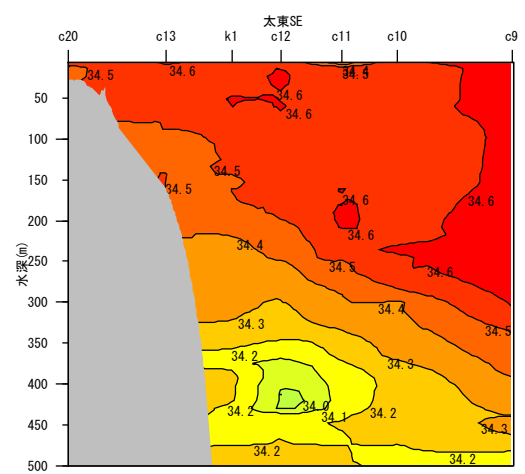
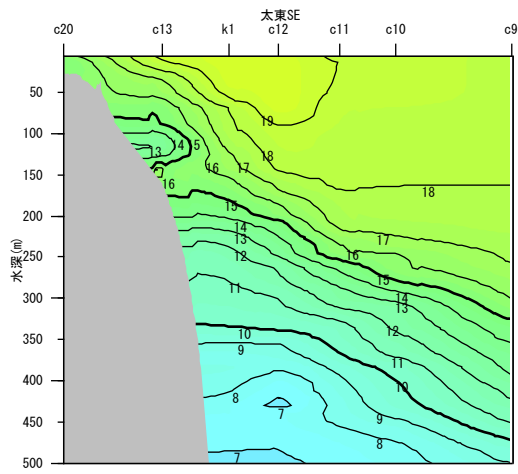
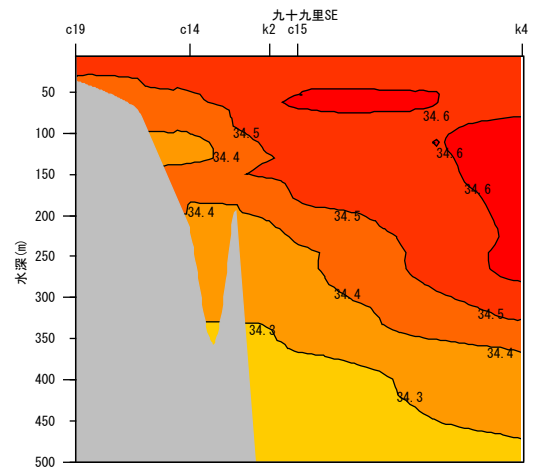
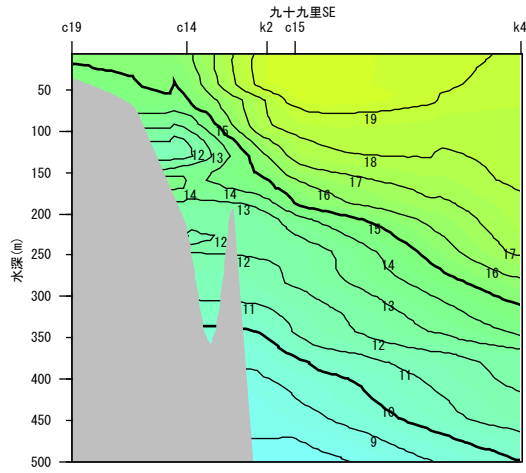
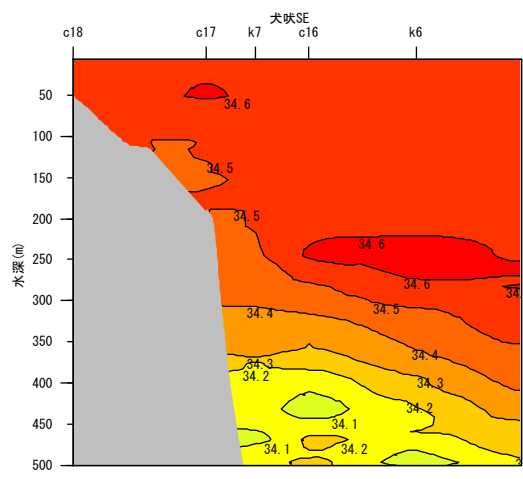
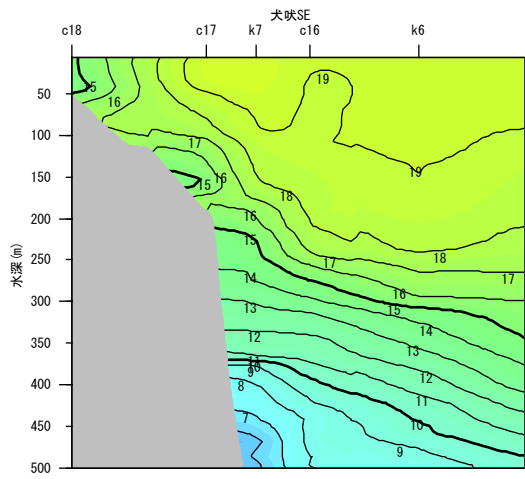


図5 水温鉛直分布

図6 塩分鉛直分布

上から犬吠埼，九十九里，太東埼，野島埼南東線（図1参照）

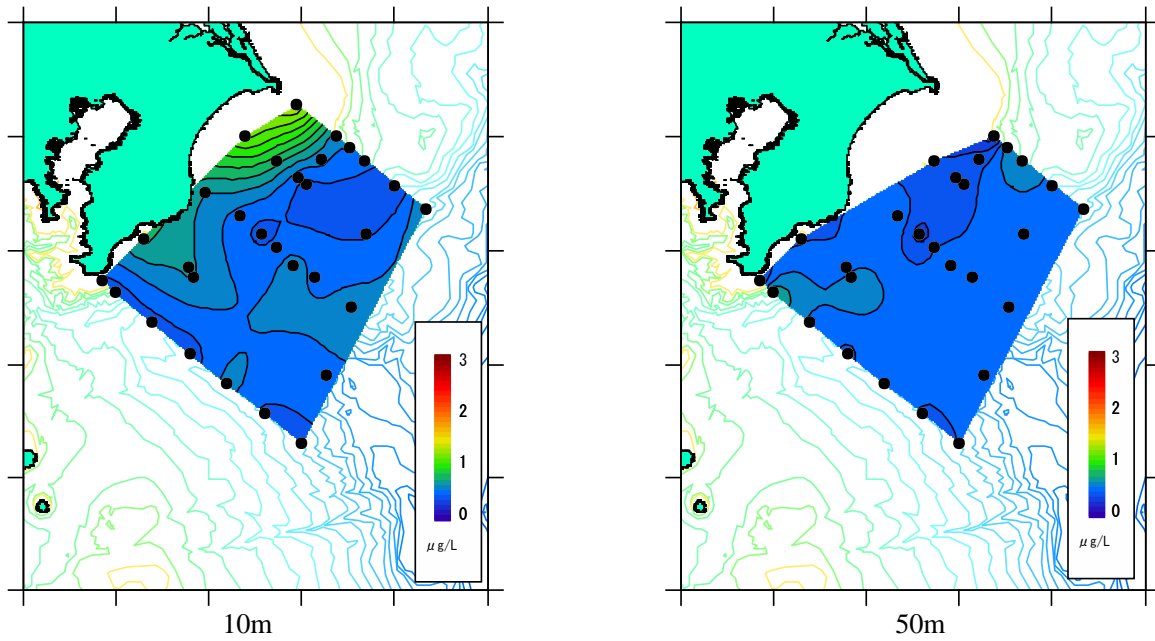
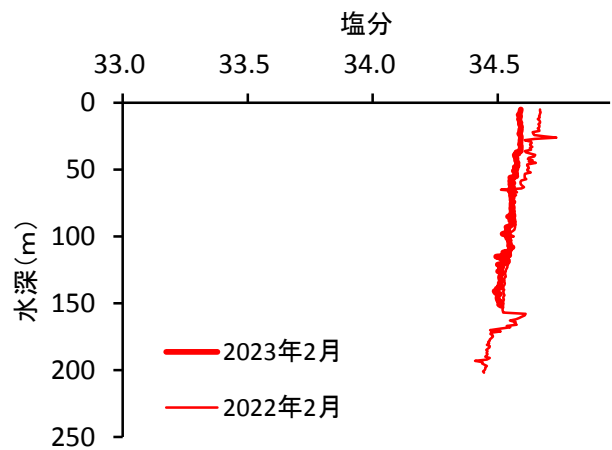
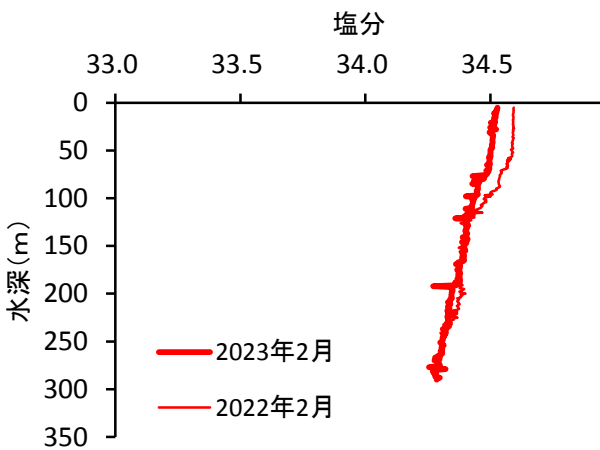
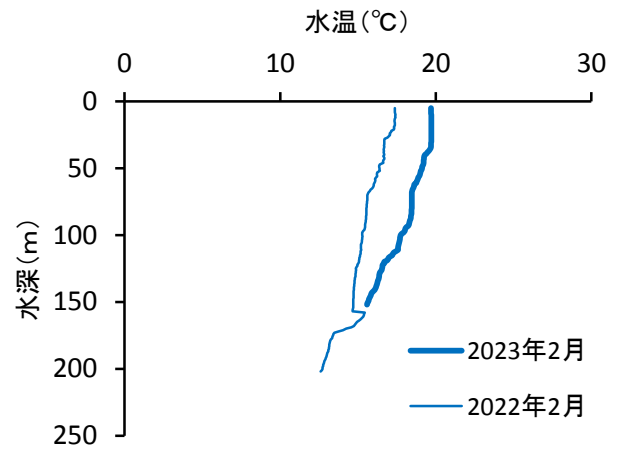
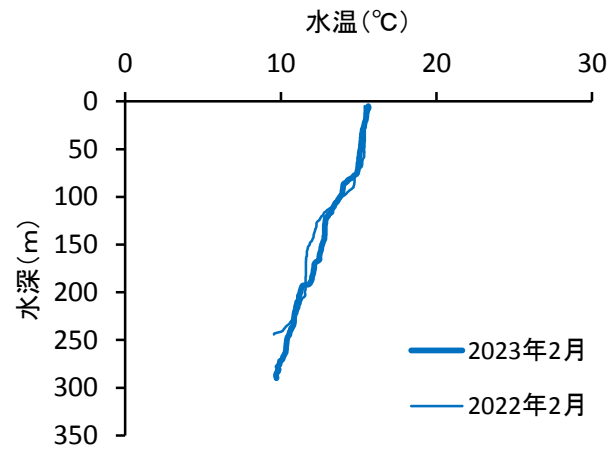


図7 水深別のクロロフィル分布 (単位:  $\mu\text{g/L}$ )



勝浦沖キンメ場

銚子沖台形場

図8 キンメダイ漁場の水温, 塩分鉛直分布 (青: 水温, 赤: 塩分)